

平成 29 年度

社会福祉法人 湖南省社会福祉協議会

事業報告

＝ 事業総括 ＝

近年、少子高齢化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化により、支援を必要とする方の福祉ニーズが多様化、複雑化しています。また、ひきこもりや社会的な孤立、子どもの貧困といった新たな福祉課題・生活課題も生じ、効果的、効率的なサービス提供の必要性が高まっています。

本会においても、地域福祉を推進する中核的な役割を十分認識し、地域住民をはじめ行政、福祉関係機関、関係団体との連携・協力のもと、市民の安心・安全な福祉のまちづくりに向け各種事業に取り組んでまいりました。

法人運営では、社会福祉法人制度改革が行われ、社会福祉法人に対する厳しい改革（ガバナンスの強化、経営透明性、財務規律、地域での公益的な取り組み等）を実施するため、本会においても適切な運営に向けて随時、理事会・評議員会、再発防止再生評価委員会、第三者委員会を開催しました。

また、監事の指導の下、経費節減・自主財源の確保と検討に努めつつ、各種事業の円滑な推進と利用者や市民へ各種サービス提供に向け、外部講師を招いて役職員研修会を実施して意識改革と資質の向上に努めてまいりました。

地域福祉事業においては、平成24年度に策定しました「第二次地域福祉活動計画」の評価・事業の見直しを行い、新たな課題に対応した施策展開を図るため「一人ひとりがぬくもりと安心と希望にみちたまちづくりをめざして」を基本理念とした「第三次地域福祉活動計画」を市民はじめ関係機関の皆様のご協力を得て策定いたしました。

本市では、平成29年度から生活支援体制整備事業がスタートし、生活支援コーディネーターの委託を受け、「我が事・丸ごと」の地域づくりを理念として、高齢者をはじめ誰もが安心して暮らし続けていくことができるよう地域での懇談会、生活支援サポーターの養成、各地域まちづくり協議会への情報提供に取り組みました。

今後とも、地域の様々な福祉課題に向き合い、市民が地域で安心して暮らせる地域に根ざした事業実施を目指して努力してまいります。

A 社会福祉事業

1. 法人運営事業 【 69,869,694円 】

(1) 本部事業

《法人運営事務》

○理事会議の開催

開催日	案	件
29年5月25日	議案第1号	平成28年度事業報告並びに会計決算書について
	議案第2号	平成29年度定時評議員会の招集及付議案件について
29年6月12日	議案第1号	会長、副会長及び常務理事の選任について
	議案第2号	顧問の委嘱について
29年9月4日	報告事項	会長・常務理事の職務執行状況報告
	議案第1号	評議員選任・解任委員会委員の選任について
	議案第2号	経理規程の一部改正について
29年12月1日	報告事項	会長・常務理事の職務執行状況報告
	議案第1号	職員就業規程の一部改正について
	議案第2号	職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
	議案第3号	給与規程の一部改正について
30年2月28日	報告事項	会長・常務理事の職務執行状況報告
	議案第1号	経理規程の一部改正について
	議案第2号	平成30年度事業計画及び予算について
	議案第3号	基金積立金(居宅介護事業安定化積立金、生活 生活困窮者支援基金)の取り崩しについて
	議案第4号	平成29年度第2回定時評議員会の招集及付議案件について

○評議員会の開催

開催日	案	件
29年6月9日	議案第1号	平成28年度事業報告並びに会計決算書について
	議案第2号	理事及び監事の選任について
29年3月23日	議案第1号	平成30年度事業計画及び予算について

○監査の開催

開催日	おもな内容
29年5月19日	平成28年度事業報告、決算、会務運営の監査について

○評議員選任・解任委員会

開催日	案 件
29年5月12日	評議員の選任について

○再発防止再生評価委員会

委員名	金子秀明、森本信吾、桐高とよみ
開催日	案 件
29年8月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長の選出について ・再発防止の対策と現状報告について ・役職員の研修計画について
30年2月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉権利擁護事業の運営監視現地調査についての報告 ・役職員研修を終えて

○再生に向けての役職員研修会 〈講師は再発防止再生評価委員〉

委員名	金子秀明、森本信吾、桐高とよみ
開催日	案 件
29年10月13日	「地域福祉と権利擁護」 甲賀・湖南成年後見センターばんじー 所長 桐高とよみ
29年12月7日	「組織の論理と組織改革-認め合い、支え合い」 近江和順会 特別養護老人ホーム ヴィラ十二坊 施設長 森本信吾
30年3月16日	「地域福祉の担い手として（使命感を持つての実践）」 さわらび福祉会 支援センターこのゆびとまれ 常務理事・所長 金子秀明

○第三者委員の設置と委員会

委員名	藤原忠昭、川奈部洋子、長谷川あさ子
開催日	案 件
30年3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス苦情体制について ・平成28年度福祉サービス苦情状況報告

○会費の納入依頼と徴収

7月 世帯会費依頼と徴収 (5,914,566 円) ※前年 6,055,597 円
 8月 法人・事業所会費依頼と徴収 (661,000 円) ※前年 694,000 円
 (計 6,575,566 円) (計 6,749,597 円)

・高額会費 (30,000 円以上) 納入事業所の広告を本会広報紙に掲載

対象 5 社 (前年 6 社) 掲載 3 社 (前年 4 社)

2. 地域福祉事業 【 14,680,896円 】

(1) 地域福祉活動事業

《地域福祉活動推進事業》

- 第三次地域福祉活動計画の策定
- 地域たまり場づくり事業

管理する施設での施設事業と目的に沿ったたまり場事業の実施

ふれあいの館	毎週月曜日午後1時30分より「ふれあいさろん」を開催（手芸・囲碁などを通して交流）
社会福祉センター	1階ロビーでのコーナーとテレビの設置

○地域福祉支援事業

学区ごとに担当職員を配置し、まちづくり協議会活動等への協力や地域での支援活動を行った。

○地域見守り体制の構築

生活支援サポーター(ボランティア20名)による地域での見守り活動を実施し、主に一人暮らし高齢者(利用者15名)を対象に見守り活動を行った。

《小地域福祉活動事業推進交付金事業》

まちづくり協議会が実施する小地域福祉活動を支援するため、交付金制度を設け、市内の全まちづくり協議会が交付金を活用した事業を実施された。

- ・交付金審査委員会の開催

開催日 4月28日

《福祉出前講座》

地域住民や自治会・団体等を対象に、社会福祉協議会の事業、ボランティア、介護などの各担当職員を講師として派遣し、市民の社会福祉協議会や地域福祉への啓発と推進のため、福祉出前講座を行った。

開催回数 12回 参加人数 403名
依頼先 老人クラブ5回、まち協3回、自治会2回 学区民協1回、団体1回
依頼内容 ①ヘルパーによる寸劇（認知症、介護保険事業） ②生活支援サポーター事業 ③ボランティア入門 ④介護予防、健康づくり体操、脳リハビリ体操

(2) ボランティアセンター活動事業

《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

情報提供

- ・平成28年度湖南省市ボランティアセンター活動実績報告冊子 700部
- ・社協広報「福祉の輪」のボランティアセンターだより

- ・市広報にてボランティア講座、シルバー教室などの参加者募集及びボランティアまつりお知らせなどを掲載

《ボランティア活動に対する相談、助言と調整》

ボランティア依頼と調整

市内福祉施設、高齢者サロン、幼稚園、保育園、小中高等学校、子育てサロン、学童保育、まちづくりセンター、国際協会、自治会 など

《ボランティア講座の開催などによるボランティアの育成》

- 生活支援サポーター講座（全5回）参加者延71名
- 災害ボランティア養成講座（全3回）参加者延146名
- ボランティアきっかけづくり講座（全3回）参加者30名
- 障がい児支援ボランティア・スタッフ養成講座（全3回）参加者15名
～終了後、ホリデースクール事業参加～
- ボランティアの親子サロン（全10回）31組参加
- レイカディア大学ボランティア体験説明会
- 市内小中高校の体験学習

三雲小学校	3年生	88名	点字・視覚障がい者のお話
三雲東小学校	5年生	48名	車イス・アイマスク・手話・点字体験
菩提寺小学校	3年生	64名	車イス・アイマスク体験
菩提寺北小学校	3年生	47名	点字・視覚障がい者のお話
石部南小学校	3年生	42名	点字・アイマスク・車イス体験
甲西中学校	1年生	116名	車イス・アイマスク・手話・音訳体験

- 中高生ボランティア体験（全3回）参加者15名
【車イス体験、アイマスク体験、「すずめの学校」夏祭り体験】

《ボランティア活動の組織化や交流の促進》

- ボランティアまつり 平成29年11月3日（金）

広くボランティア活動の理解を深め、ボランティアとの交流、ボランティア同士の交流を図るため年1回開催。2,000名を超える来場者があった。

《当日参加ボランティア》約70グループ 366名（前年度419名）
《一般体験コーナー参加人数》276名（前年度169名）《景品引き換え》451名

《ボランティア活動基盤整備》

- ボランティア保険の加入
 - ・ボランティア活動保険加入830名（前年度829名）
 - ・ふれあいサロン保険加入40名（前年度39名）
- ボランティアグループへの活動助成
 - ・70団体に助成（前年度70団体）

○ハッピータイム（奇数月第2火曜日午後1時30分～）

・グループ間の交流・ボランティアグループ活動披露

5月	人形劇「おにぎり村」 24名参加	7月	シルバー舞踊 15名参加
9月	ふれあい給食（調理体験）28名参加	1月	手話教室「めだか」19名参加
3月	点訳V「昴」 13名参加		

《その他》

○備品貸し出し・・・車椅子、かるた、カラム、プロジェクターなど

○高齢者見守り活動事業

生活支援サポーターによる見守り活動事業の実施・・・年間155回

○ゴーヤカーテンプロジェクト

ボランティアと市29か所（保育6か所、幼稚園6か所、小学校2か所、児童施設2か所（市外1か所含む）、高齢者施設9か所、公共施設4か所）にゴーヤのカーテンの普及を推進するため、種まき、苗作り、棚にする竹の切り出し、棚作り、花壇作り、追肥などをした。

○配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者に対し、ボランティアの協力のもとに手作りの昼食を配達した。

年間22回開催	延べ1,033個配食	<昨年計 1,423個>
約47個/回	配食	

なお、給食サービスで安否確認できなかった一人暮らし高齢者に対して担当民生委員へ連絡して安否確認を依頼

○災害ボランティアセンター設置・運営のための活動

- ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練 11月23日 参加者66名
- ・災害ボランティアセンター運営隊の育成（登録者36名）
- ・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの改訂

○リサイクルコーナー・手作り品販売コーナーの設置

- ・古着を1着100円で、手芸ボランティアの作品を希望される方に購入いただいた。

○行事などへのボランティア参加協力

・障がい児ホリデースクール事業 ボランティア数 延168名（前年度220名）

（3）広報活動事業

《広報発行事業》

○広報の発行

- ・平成29年6月発行（通刊32号 新聞折込）
- ・平成29年10月発行（通刊33号 新聞折込）
- ・平成30年2月発行（通刊34号 新聞折込）
- ・ホームページの更新

○広報紙の配布

市内まちづくりセンターや県内社協へ広報を配布した。

(4) 助成事業

《地区活動助成事業》

世帯会費を各区の前年度（平成 28 年度：6,055,597 円）の会費額の 20%を地域福祉活動のために助成した。（地域福祉活動奨励金）

助成額合計 1,212,400 円 <前年度 1,180,100 円>

《福祉団体活動助成事業》

市内の福祉関係団体に対し活動費を助成した。（10 団体）

《小地域福祉推進事業》

○石部地域での小地域福祉活動の推進

- ・福祉協力員の委嘱
- ・福祉協力員研修会の実施 4月14日（金）
- ・小地域福祉活動事業補助
 - ふれあいサロンの実施 7地区 延べ75回 <昨年98回>
 - 見守り・安否確認活動 2地区

(5) 敬老会開催事業

《敬老会開催助成事業》

各区、高齢者施設（6か所）で開催される敬老会に対して市内の72歳以上の人口割で開催費用の助成を行った。

- ・助成総額 1,997,700 円

《敬老祝品贈呈事業》

88歳、100歳を迎えられた方々に祝品の贈呈を行なった。

- ・贈呈対象人数 170名

(6) 生活困窮者支援事業

○「子どもの貧困について考える」フォーラム

子どもの貧困について「知ってもらうことから」として、市民、学校、企業、福祉関係者に案内してフォーラムを開催した。

- 実施場所 共同福祉施設（サンライフ甲西）
- 開催日 平成30年2月18日（日）
- 内 容 講演「子どもの貧困の現状と今、自分にできること」
事例報告
 - ・「スクールソーシャルワーカーの立場から」
 - ・「湖南省学習支援事業（ひまわり教室）から」
- 来場者 約70名
- 共 催 湖南省（住民生活相談室）

(7) 生活支援コーディネーターの設置

○多様な主体によるつながりづくりや地域課題を共有し協議することにより、支えあい活動やまちづくりの展開への支援を行った。

- ・地域での課題解決に向けた取り組みへの参加
- ・地域課題を、住民や関係者が集まって話し合う場づくりへの支援
- ・住民同士の支えあい・助けあい活動への協力

3. 生活福祉事業 【 1,644,569円 】

(1) 生活福祉貸付事業

《生活福祉資金貸付事業》

生活に困窮した方（世帯）からの経済的な悩みの相談を受け、必要に応じ貸付制度の利用手続きを進めたほか、善意銀行事業による生活食糧品支援や、生活保護の対象と考えられる世帯を行政へ繋ぐなど関係機関との連携を行った。

○生活保護受給予定世帯を対象としての貸付（市）

種 類	件 数	貸 付
生活保護予定世帯繋ぎ小口資金		11 <昨年 13>

○生活緊急一時としての貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
緊急小口資金		96 <昨年 65>	5 <昨年 5>

○失業による生活貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
総合支援資金		26 <昨年 27>	0 <昨年 3>

○福祉による目的に応じた貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
福祉資金		64 <昨年 45>	6 <昨年 5>
教育支援		60 <昨年 39>	8 <昨年 9>

《行路者旅費支給事業》

行路者に対する旅費として、切符により支給した。

9件 （内訳 柘植方面 0件 草津方面 9件） < 昨年 10件 >

(2) 地域福祉権利擁護事業

判断の困難な方を対象に、日常の金銭管理や大切な物の保管など生活支援を行った。

・契約件数：56件 <昨年56件>

内訳：認知症高齢者等 7件 知的障がい者等 28件
精神障がい者等 19件 その他 2件

・年度内新規契約：5件（認知3、知的1、精神1）

解約：5件（認知2、知的1、精神2）

問い合わせ、相談援助件数	認知	知的	精神	その他	計
問い合わせ	31	19	7	6	63
問い合わせ初回相談	3	3	2	0	8
相談援助	978	1,405	2,283	90	4,756
計	1,012	1,427	2,292	96	4,827
<昨年度計>	(840)	(1,417)	(2,044)	(170)	(4,471)

○市民向け権利擁護セミナー

NPO法人甲賀・湖南成年後見センターぱんじーと市民を対象にセミナーを開催した。

実施場所 社会福祉センター

開催日 平成30年2月3日（土）

内容 講演「みんなでつくろう！笑顔あふれるまちづくり」
事例報告「地域住民と行政で共に支えることとは」
意見交換

来場者 25名

4. 受託事業 【 11,523,906円 】

(1) 障がい児ホリデースクール事業

学校の長期休暇期間中に障がい児を対象に地域やボランティアの方々とふれあいながら健やかな一日を過ごせるよう、ホリデースクールを開催した。

① 夏季休暇中の18日間（7月25日から8月25日）

参加児童生徒 延べ 213名 <昨年230名>

スタッフ 延べ 206名 <昨年200名>

ボランティア 延べ 146名 <昨年191名>

サポートボランティア 延べ 50名 <昨年29名>

※ 子どもたちとふれあう以外に調理や外出時の会場設営などで事業をサポートするボランティア

②冬期休暇中の2日間

12月24・25日の2日間

「クリスマス会」 社会福祉センター

参加児童生徒	延べ	30名	<昨年22名>
スタッフ	延べ	20名	<昨年24名>
ボランティア	延べ	17名	<昨年27名>
サポートボランティア	延べ	0名	<昨年0名>

③春期休暇中の2日間

3月27・29日の2日間

「バス旅行」27日：野洲市なかよし交流館

29日：アクア琵琶・大津市中消防署

参加児童生徒	延べ	20名	<昨年14名>
スタッフ	延べ	20名	<昨年24名>
ボランティア	延べ	5名	<昨年2名>
サポートボランティア	延べ	0名	<昨年0名>

(2) ファミリーサポートセンター事業

子育て支援のため、子ども（未就学児・小学生が対象）の一時的に保育を希望される保護者と子どもの世話ができる方がそれぞれ会員となり、ニーズに合わせて保育機会の提供を行った。

開設日時 毎週月曜日～金曜日 午前10時～午後5時
〈第2水曜日は午後7時まで開所〉

(湖南市中央一丁目38 平和堂甲西中央店内)

《センター運営事業》

・会員交流会の開催

5月26日 「ペパナプフラワーリース」作り

9月8日 「井戸端交流会」

12月2日 「クリスマス会」 クリスマスブーツを作ろう

延べ51名参加

・延長開所 4月12日、5月10日、6月14日、7月12日

8月9日、9月13日、10月11日、11月8日、

12月13日、1月17日、2月14日、3月14日

・会員、一般向け子育て研修会の開催 9月20日、9月27日

10月4日、10月11日、10月18日、10月25日

延べ43名参加

・フォローアップ講座の開催

11月10日「支援が必要な子どもへの関わりについて」

12名参加

- ・会員通信の発行（年2回）
- ・4か月、10ヵ月へ出向き説明及び入会手続き
- ・平成29年度会員登録者
 - 提供会員 82名
 - 依頼会員 232名
 - 両方会員（提供依頼兼務）26名

《活動実績と内訳状況の内訳》

項 目	回数	<昨年>
保育園・幼稚園の預かり、送り	234	<29>
保育所・幼稚園の迎え、預かり	79	<125>
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	4	<1>
保育所・幼稚園の帰宅後の迎え及び預かり	12	<0>
学童の送り	168	<48>
学童の迎え	56	<7>
放課後児童クラブ（学童保育）の迎え、預かり	1	<4>
放課後児童クラブ（学童保育）の送り	183	<0>
学童の放課後の預かり	0	<1>
子どもの習い事等の場合の援助	20	<214>
保育所・学校等休み時の援助	75	<3>
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	96	<98>
保護者等の求職活動中の援助	2	<2>
保護者等の外出や他のこどもの学校行事の場合の援助	14	<8>
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	3	<0>
多胎児の保育援助	0	<3>
その他	2	<19>
合 計	949	<562>

サポートボランティア 延べ 9名 <昨年5名>

(3) 社会を明るくする運動事業

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい社会を築こうとする全国的な運動を市内において展開した。

推進大会の実施 期 日 平成29年7月3日（月）

内 容 更生保護活動に関する講演
内閣総理大臣メッセージ伝達式
のぼり旗掲出活動（60本）

参加者 約80名

街頭啓発活動 7月4日 平和堂甲西中央店前
7月4日 平和堂石部店前
7月5日 平和甲西店前

7月7日 平和堂菩提寺店前

7月12日 イオン湖南店前

参加者 市内中学・高校生、運動関係者

(4) 高齢者生きがいサロン事業

《おたっしやる一む》

60歳以上の高齢者の心身の健康を維持し、閉じこもりや認知症を予防し、地域で安心して生活できることを目的に実施した。

実施場所 松籟会館 (湖南省市石部西)

開設日 毎週月・木曜日

登録者 8名 < 昨年 8名 >
年間 91 回開催 延べ 441 名参加 < 昨年延べ 514 名 >
平均 約 4 名 / 回、約 36 名 / 月 参加
利用者の送迎 441 名 / 年

《みくもいきいきサロン》

65歳以上の方を対象に健康維持、自立支援の助長、介護予防仲間づくりを目的に実施した。

実施場所 三雲地域人権福祉交流センター (三雲ふれあいセンター)

開設日 毎月第1、第3金曜日

登録者 40 名
年間 23 回開催 延べ 307 名参加 < 昨年延べ 253 名 >
平均 約 13 名 / 回 参加

(5) 生活困窮者自立支援事業 家計相談支援事業

市住民相談室(自立相談窓口)等の各専門機関と連携し、生活困窮世帯を対象に家計管理を中心とした家計相談支援を行った。生活福祉資金貸付とも必要に応じて連携をとった。

利用世帯数	10 世帯 / 年
相談件数	12 件 / 年
支援件数	121 件 / 年

5. 居宅介護事業 【 74,424,858円 】

(1) 訪問介護事業 (ホームヘルプサービス)

《訪問介護事業》

介護保険事業として、高齢者の方々を中心に、身体介護や生活援助の訪問介護サービスを提供した。

介護保険訪問	介護予防訪問
利用者 延べ 888 名／年 ＜昨年 857 名／年＞	利用者 延べ 111 名／年 ＜昨年約 154 名／年＞
約 74 名／月＜昨年 71 名／月＞	約 9 名／月＜昨年 13 名／月＞
訪問回数 延べ 11,026 回 ＜昨年 14,268 回／年＞	訪問回数 延べ 546 回 ＜昨年 731 回／年＞
約 919 回／月 ＜昨年 1,189 回／月＞	約 46 回／月 ＜昨年 60 回／月＞

(2) 障がい者総合支援事業

障がい者総合支援制度に基づき、本会では居宅介護事業（身体障がい者ホームヘルプサービス・同行援護サービス）を実施し、利用対象者にサービスを提供した。

ホームヘルプサービス	同行援護サービス
利用者 延べ 216 名／年 ＜昨年 236 名／年＞	利用者 延べ 73 名／年 ＜昨年約 101 名／年＞
約 20 人／月 ＜昨年 20 人／月＞	約 6 人／月 ＜昨年 8 人／月＞
訪問回数 延べ 2,030 回 ＜昨年 1,773 回／年＞	訪問回数 延べ 281 回 ＜昨年 323 回／年＞
約 169 回／月 ＜昨年 148 回／月＞	約 23 回／月 ＜昨年 27 回／月＞

《湖南省障がい者等移動支援事業》

屋外での移動が困難な視覚障がい者（グループ）に対して、外出のための支援サービスを提供した。

介護なし	介護あり
2 対 1 利用者 延べ 44 名／年 約 4 名／月 訪問回数 延べ 72 回 約 6 回／月	2 対 1 利用者 延べ 14 名／年 約 1 名／月 訪問回数 延べ 35 回 約 3 回／月
3 対 1 利用者 延べ 0 名／年 約 0 名／月 訪問回数 延べ 0 回 約 0 回／月	3 対 1 利用者 延べ 0 名／年 約 0 名／月 訪問回数 延べ 0 回 約 0 回／月

(3) 特定相談支援事業

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、障がい者福祉サービス等の利用計画の作成等を行った。

利用者 延べ 20 名／年 約 5 人／月

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス

《いきいきサロンなごみ》

要支援者と二次予防事業対象者の高齢者に趣味等の生きがい活動の機会と場を提供することを目的に実施した。

実施場所 石部軽運動場（石部老人福祉センター併設）

開設日 毎週火・水曜日

登録者 18 名 < 昨年 20 名 >
年間 98 回開催 延べ 830 名参加 < 昨年延べ 928 名 >
平均 約 8 名 / 回、 約 69 名 / 月 参加
利用者の送迎 830 名 / 年

(5) 子育てホームヘルプサービス事業

《多胎児家庭ホームヘルプサービス事業》

多胎児を持つ世帯に対し、家事や育児などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として実施した。

延べ 31 名、105 回 / 年 < 昨年計 22 名、40 回 / 年 >
約 2 名 / 月、9 回 / 月 < 昨年計 2 名、4 回 / 月 >

《子育て支援ヘルプ事業》

生後 3 歳までの乳幼児のいる世帯に対し、家事や通院、育児など様々な活動の支援を市受託事業として実施した。

延べ 8 名、65 回 / 年 < 昨年計 3 名、22 回 / 年 >
約 1 名 / 月、5 回 / 月 < 昨年計 1 名、2 回 / 月 >

(6) 特定旅客自動車運送（福祉有償）事業

特定旅客自動車運送事業者（道路運送法 43 条及び 78 条を取得）として介護保険事業及び障がい者総合支援事業の契約者を対象に、通院や買い物など契約サービスと一体的に移送サービスを実施した。

延べ 254 名、488 回 / 年 < 昨年計 336 名、654 回 / 年 >
約 21 名 / 月、41 回 / 月 < 昨年計 28 名 / 月、55 回 / 月 >

6. 施設管理事業 【 17,220,619 円 】

(1) 社会福祉センター管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成 25 年度～29 年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供や高齢者の健康推進事業、相談活動を行った。

＝貸館状況＝

年間延べ 1,205 件 < 昨年 1,245 件 >
平均 約 100 件 / 月 利用

(2) 石部老人福祉センター管理事業（指定管理）

市（高齢福祉課）から指定管理（平成25年度～29年度）を受託し、専従の管理人を配置して貸館業務、施設管理業務、また施設事業として高齢者を対象に風呂の利用、サロンの開催、健康推進事業などを行った。

＝貸館状況＝

年間延べ726件 <昨年 延べ617件>
平均 約61件/月 利用

＝“和の湯”利用状況（利用料1回 100円）＝

年間延べ1,195名 <昨年 延べ1,632名>
平均 約96名/月 利用

＝軽運動場管理事業＝

年間延べ830件 <昨年 延べ656件>
平均 約69件/月 利用

○ふれあいサロン「みんなのまめ講」の開催

石部老人福祉センターを拠点に介護予防、仲間づくりのためのサロンをボランティアの協力をいただきながら開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 4月より毎月第2金曜日

年間12回開催
延べ502名参加 <昨年延べ360名> 平均約40名/回参加

○老人福祉センターまつりの開催

老人福祉センター並びに軽運動場の利用促進と利用者同士の交流を図るため、施設利用者（グループ）によるステージ発表や作品展示、また体験コーナー、模擬店を設置した。

実施場所 石部老人福祉センター、石部軽運動場

開催日 平成29年5月27日（土）

来場者 約500名

協力団体 42団体

○老人福祉センター「将棋大会」の開催

将棋を通して、思考力・集中力・決断力など技能の向上に加え、人との交流を深めながら愛好者の増加をめざし開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開催日 平成29年11月16日（木）

対局参加者 16名

○シニア応援講座の開催

高齢者が自ら学び、生きがい探しや仲間づくりなど、世代交流をしながら地域づくりに楽しく参加できる「シニア応援講座」を開催した。

①湖南省の歴史講座

(平成 29 年 6 月 21 日～5 回シリーズ・生涯学習課共催)

延べ 98 人参加 平均 20 名/回

②生け花教室 平成 29 年 10 月 17 日 (火) 参加者 7 名

平成 29 年 11 月 28 日 (火) 参加者 5 名

③ブリザーブドフラワー

平成 29 年 12 月 12 日 (火)

午前の部 参加者 18 名

午後の部 参加者 15 名

④生芋こんにゃく作り体験

平成 29 年 12 月 20 日 (水) 参加者 20 名

○高齢者いきいき教室

60 歳以上の方を対象に健康維持、介護予防、仲間づくりのための教室を開催した。

実施場所 石部軽運動場 (和の家)

開設日	毎週月曜日午前	登録者	7 名	<昨年 9 名>
年間	42 回開催	延べ	180 名参加	<昨年延べ 223 名>
平均	4 名/日、	約	15 名/月	参加

(3) ふれあいの館管理事業 (指定管理)

市 (社会福祉課) から指定管理 (平成 25 年度～29 年度) を受託し、専従の管理人を配置して施設の貸館を含めた管理業務とともに、施設の事業として位置づけられたボランティア活動として次のような事業を行った。

《施設管理事業》

年間延べ	561 件	<昨年	延べ 632 件>
約	47 件/月	利用	

《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

○情報提供 市広報に講座開催に伴う参加者募集記事の掲載

○インターネットによる情報提供

《ボランティア教室や講座の開催、ボランティアの育成》

○シルバーパソコン教室 全 2 回 参加者 延べ 54 名

○親子でチーパッパ! 「すずめの学校」

就園 1 年前の幼児親子とボランティアとの交流を目的として開催

毎月第 2 木曜日 午前 10 時～12 時

全	12 回	参加者	延べ 337 名
約	28 名/回	参加	

お母さんのための勉強会の開催 参加者 7 名

○こどもクラブ

就園児・小学生親子とボランティアとの交流を目的として開催
不定期（春・夏・冬休み・土曜日など）

全 10 回	参加者	延べ 265 名
約 26 名/回	参加	

《たまり場事業》

毎週月曜日午後 1 時 30 分より「ふれあいさろん」を開催
（手芸・囲碁などを通して交流）

《その他》

○備品貸し出し 囲碁ゲームセット・本・遊具など

7. 善意銀行事業 【 10,793,170円 】

市内外から善意による金品の寄付を受け、寄付金の一部については地区活動助成事業やボランティアセンター活動事業に役立て、また米や物品などは生活困窮者や施設への提供あるいは本会やボランティア活動に提供するなど、多方面へ役立てた。

寄付総額 490,308 円 < 昨年 2,459,720 円 >

寄付物品 オムツ、タオル、米等

《催し物器具の貸出事業》

地域での行事やイベントに必要な催し物器具を次のとおり貸し出した。

・貸出件数 合計 85 件

	かき氷機	綿菓子器	ポップコーン機	たこやき器	鉄板
29 年度	20 件	34 件	18 件	3 件	10 件
<昨年度>	(28 件)	(27 件)	(19 件)	(5 件)	(14 件)

《福祉機器貸出事業》

車椅子の貸し出し 貸出回数 59 回（30 年 3 月末現在）

《福祉自動販売機設置事業》

社会福祉センター、老人福祉センターに自動販売機を設置し、設置手数料を福祉事業への財源確保に努めた。